

2019年度(第29回)京都教区合同児童念仏奉仕団 参加報告(水本総代)

7月30日、31日に西本願寺で開催された児童念仏奉仕団に引率参加しました。
1日目は午前9時半に明善寺に18名の児童が集合して、市バスで西本願寺前の和泉屋旅館に移動して、結団式を済ませて昼ごはんを食べました。
この時点での児童はまだおとなしく、少年連盟理事やスタッフの話を静かに聴いてました。
そして、ピンク色のリュックサックと児童念仏奉仕団の予定、お経、本願寺探検クイズなどが記載された冊子と聖典が参加記念として児童に配布され、それぞれ教区、組、寺名、名前をスタッフ等に聞きながらにぎやかな雰囲気の中、一生懸命記入していました。
また、「合掌」、「ナモアマダブツ」、「礼拝」の練習を済ませた頃にはこれからどのようなことが始まるか興味津々の児童も見受けられました。



13時過ぎからは西本願寺内の安穏殿で全国11教区から児童、引率、スタッフを含め408名が集合して開会式が始まり、今回初めて参加する児童も多く少し興奮しているように感じました。本願寺スタッフから1日目の予定の説明があり、ここでも「合掌」、「ナモアマダブツ」、「礼拝」の練習を大きな声を張り上げてしていました。



その後、教区別に御影堂に移動し、お勤め「らいはいのうた」が堂内に大きな児童の声で響きわたっていました。



14時20分過ぎからは児童全員で暑さにも負けず、元気に楽しく御影堂の清掃をしていました。





15時前から教区別に分かれて西本願寺の書院や飛雲閣などを探検しながらクイズを楽しみました。



スタッフさんの協力で無事、西本願寺境内探検クイズが終わり、安穩殿で答え合せを行われましたが、このときは、児童の楽しさの興奮度は最高に達していたように感じました。



17時半に夕食を済ませて顕堂会館に移動して、レクレーションで更に喜んだ児童の顔が見られました。女性スタッフの楽しいゲームに児童は大変興奮して、その夜に寝るのか心配でした。

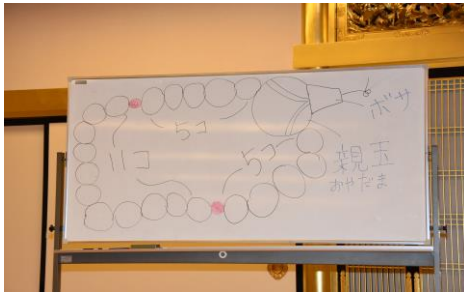




2日目の朝はお勤めをするため5時40分に旅館玄関に集合し、御影堂に移動しました。朝6時からお勤めが始まり、大きな声で「讃仏偈」「正信念仏偈」を称えました。



その後、旅館にもどり朝食後荷物を持って安穩殿に移動して、レクリエーションで腕輪念珠作りをしました。少し難しかった様子でしたがスタッフの協力を得て全員作ることが出来ました。11時には御影堂前でご門主様との記念撮影をして、安穩殿で感謝状伝達があり閉会式となりました。その後昼ごはんを済ませ、顯堂会館に移動。



第29回 京都教区合同児童念仏奉仕団 令和元年7月31日



顕堂会館では明善寺からの参加児童によるレクレーションが開催されました。
初めにお勤めは上西組の住職が唱えられると思っていたところ、女の子4人が阿弥陀様の前で
お経を称えたいと言い出したことには驚きました。



その後、クイズ、人形劇、紙芝居と子供たちは2日間の疲れも見せないで楽しんでいました。



最後に2日間を通じて感じたことは、何事の事故も起こらず疲れを見せない元気な子供たちには
驚かされた場面も多く、児童念仏奉仕団に参加して非常に楽しい有意義な夏休みを過ごせて
良い思い出になったと思います。
更に、後日住職にお聞きしたのですが、来年も参加したい！との声が聞かれたそうです。

門徒総代 水本正和